

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>中津川市公共交通会議</p>	<p>P3にあるように色々なイベントをされている。 観光客の増加でバス利用の下支えになっているのも良い傾向だ。その中で外国人に対する特別な取組はあるか？ →グーグルマップで検索できるようにしている。例えば中部空港から馬籠まで検索すれば、経路が出てくる。 市内では言葉の問題などないのか。 →基本的には市の観光課や観光協会などが行う。パンフレットの多言語化を行っている。 北恵那バスで、保護者会はどういう取組なのか？ →加子母・付知地区では、保護者会が組織されていて、北恵那バスと契約して、保護者会に加入すると定期が12か月で買えたり、月額払いできたり、紛失発行してくれたりしてくれる。 保護者会以外の定期購入者が増加というのはどういう意味か？ →15地区あるなかで、加子母・付知の2地区で保護者会がある。13地区での定期購入が増加しているため、それら地区での取り組みを考えていく必要がある。</p>	<p>神坂地区コミュニティバスについて81人／年に急増したとあるが、1週当たりによれば1人程度であり、それを急増とは言わないのではないか。これより良い事例がなかったのか？ →神坂地区コミュニティバスについては、担当としては地域と数年協議して利用が0人から81人になったのは成果と考えている。 評価のエクセル表を見ると、坂本三坂線は目標値に対し140%になっており、こちらの方がPRすべきことではないか。定住とバス充実の関係が弱い気がする。またそれが定住と関係があるのだろうか。 →中津川市の特徴として、全体に観光客が底上げしており、住民利用が実数として増えているかは十分分かっていない。そのため、地域に入って増えた事例を掲載させてもらった。 地域間幹線系統の馬籠線は、計画が16.6に対して、実績が63.0である。4倍も上回ったのだが、それは予測できなかったのか。外国人が理由かと思うが、「定住」をキーワードにするなら観光を除いた部分を測らないといけないのではないか。</p>	<p>「定住」を目指して様々な取組をなされていると思った。 「Do」で示されている神坂地区コミュニティバスについて、10月以降の利用状況は？ →10月以降も堅調に推移しており、通院・買い物に利用されている。4月頃に地域の区長会に行く予定なので、現場の声を聞いてみたいと考えている。 「Act」の「おでかけレポートリー」の内容は？ →ターゲットは地域住民で、モデルコースを提案するような内容となっている。対象者が高齢者なのでHPではあまり効果が無いと思ったので、チラシを全戸配布した。 情報発信を年齢層に応じて色々されると良いだろう。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
八百津町地域公共交通協議会	<p>YAO バスの利用低迷が課題だが、無料デーをやって増えた減ったということだけでなく、アンケートなどここからより詳しい情報を得て欲しい。</p> <p>満足度の調査の是非はともかく、調査を一回もやっていないので町としてどう考えているかわからない。他部局での調査も参考値として使えるのではないか。</p> <p>→2019 年度以降、事業に取り組めていなかったので、今年度から取組を始めた。アンケートは来年度、事業評価に併せて実施予定である。</p> <p>R6 年度に会議が 7 月と 3 月にあるが、全体的な評価は会議で議論しているか？</p> <p>→時間の都合上、協議会を経ず資料を提出することとなっているため、3 月に事後報告の予定である。</p> <p>町の HP などに公共交通の議論の情報がない。外部だけでなく内部でもしっかり議論して欲しい。</p>	<p>2 年間延長とのことだが、この計画のままで良いのか？ まずこの評価結果は、協議会を経て出すべきものである。会議を通せば良いというわけではないが、会議を通さない結果、委員との意識共有ができていない。手続き的に間違っており、そうした状態を 2 年間延長するという事で良いのだろうか。</p> <p>計画に掲げた事業の星取り表を作成し、会議で実施の有無を確認し、事業の継続の是非を議論するという計画・評価の推進体制を構築すべきである。その結果を自己評価として提出して欲しい。</p> <p>広見線の存続が八百津町にとって 2 年間延長しなければいけないほどのことなのだろうか。また、広見線について八百津町としてどう対応すべきかの議論の場として協議会を活用してほしい。</p>	<p>YAO バス無料デーについて実施した結果について知りたい。</p> <p>→可児市、御嵩町とイベントに併せて実施した。周知はチラシ、ポスターによる。利用者数は急激な伸びは確認できていないが、普段バスを利用しない人が利用した、次は使ってみたいという意見があった。</p> <p>バス停製作は、箇所数を増やすことよりも、メンテナンスを継続し、「見せる化」にも取り組んでいただきたい。</p> <p>→八百津町の商店街の入口に設置した。バスに乗る人はいないが、休憩に使われているので、いずれ利用増加につながると良いと思う。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>美濃加茂市地域公共交通活性化協議会</p>	<p>P3の取組の中で、特に高校生のポイントカードの取組は良いと思った。</p> <p>「Check」のところで、施設の観光入込客数が指標になっている。観光が下支えするのは分かるが、入込客数そのものを指標として使うのは違和感がある。</p> <p>→バスで立ち寄るため、引き続きこの指標を使うことを考えている。</p> <p>「観光客のうち公共交通利用者」であれば分かるが、観光施設に車で来る人が多くなればそちらに引っ張られてしまう。</p> <p>→車で来た人もいる。確かに見直しを図っていききたい。</p> <p>定住自立圏について、どう協議して計画にどう反映するのか教えてほしい。</p> <p>→定住自立圏の市町村で担当者会議を行う中で、公共交通計画での調査の結果を共有し、それぞれの課題を話し合っ て反映させていきたいと考えている。</p>	<p>地域住民が主体となった取組は、ほぼ実施していないようだが、どういう事を想定したのか？</p> <p>→地域と話す機会を想定していて、地域懇談会8件、サロン4件という事になっている。</p> <p>それを「連携」というのか。企画を練ることやチラシを配るなど、一緒に何かやるのが連携である。12件は盛り過ぎの印象だ。</p> <p>以前の再編で良くなったが放っておくと伸びが停滞、やがて減っていくのが一般だ。その辺りはどう考えるか。</p> <p>→現在も増加傾向であり、減少することは見込んでいないが、確かに不安ではある。</p> <p>そのうえで地域との連携で取り組んでいく事があるのではないか。</p> <p>→具体的な事業は決まっていないが、地域に出向いて話を聞くということをやっていききたい。</p> <p>それが大事であれば、懇談の件数を挙げていく方が良い。計画策定時しかやらない地域も多い。懇談会の結果をふまえ、今後のやり方・頻度を考えてほしい。</p> <p>計画策定の今後のスケジュール感をこの書類に書いてほしかった。P10のスケジュールは、計画策定年度のことを書くべきで、そうであればもっと忙しくなるはずだ。計画策定の年の協議会が2回で終わるとは思えない。</p> <p>→通常から更に加えて10月・12月に会議を行う予定だ。</p> <p>会議でどういう審議してどういう意見をもらうか、その辺りをきちんと書いてほしい。</p>	<p>第二次網形成計画の進捗確認はできたが、次計画の検討の進捗などが分からなかったので教えてほしい。</p> <p>→今年度は調査業務、来年度策定の予定である。</p> <p>調査結果の協議はされているのか？</p> <p>→調査内容は協議会で諮って協議している。</p> <p>住民への還元は重要だと思うので、しっかり実施してほしい。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>関 市 公 共 交 通 活 性 化 協 議 会</p>	<p>目標1で高校生の通学に力を入れていることが分かった。学習塾にもチラシを配布するなど色々取り組まれている。</p> <p>通学支援の補助は高速名古屋線だけか？ 市内の高校生全体への補助はあるか？</p> <p>→高速名古屋線定期補助は大学生、専門学生であり、高校生は対象外である。高校生を対象とする補助は、関シティバスと長良川鉄道を乗り継ぐ場合、シティバスを無料にする制度があるが、対象者が少ない。</p>	<p>評価できていて好感が持てる。</p> <p>西ウィング、東ウィングの奥の方に住む高校生がどの程度利用しているかは確認しているか？ 地区ごとの状況を協議会でモニタリングし、見直しや働きかけを進めて欲しい。</p> <p>→毎年アンケートをして把握している。板取方面から関高校への通学については関板取線がある。上之保・武儀については、朝夕のみ上之保関商工線をご利用いただいている。</p> <p>市内全体の数字では薄まってしまうので、地区別に高校生に対する占有率を見る必要がある。</p> <p>買い物循環線の利用増は良いが、地域の行き先となる施設にチラシへの記載、店内での宣伝など、連携はできているか？ やることで施設の意識も高まる。</p> <p>→時刻表は施設に配布し、マーゴでの配布・PR をしてもらっている。</p>	<p>バス路線のパターンダイヤ化による利用増は評価できる。</p> <p>「Do」の★マークの意味は？</p> <p>→フィーダー補助対象の意味である。</p> <p>指標①の送迎率について、送迎率が増えているが、助成制度と周知だけでなく、駅や周辺の高校生の居場所づくりを他団体と一緒に取り組むといったソフト的な角度での取組も検討してはどうか？</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
美濃加茂市 ・ 郡上白川交通圏	<p>美濃加茂市の公共交通計画と、定住自立圏の基本構想は策定年次が同じだが、八百津町は2年延長なのでずれ。圏域としての交通網を考えると、市町の中での交通網の整合性をどう取るのかが見えにくい。</p> <p>→定住自立圏構想をふまえて、計画を作ることにしている。</p>	<p>高校生は3年しか通わないので、2年延長というのは厳しい。2年間大変な思いをすれば出て行ってしまう。定住自立圏では鉄道が重要だが、増便は難しい。美濃加茂市は駅から高校が遠いので自転車利用が多いが、取りこぼしがあるかもしれない。高校生と話し合いをするなどして通学しやすくすることを考えるべきではないか。</p> <p>→（美濃加茂市）高校生、高校生の保護者アンケートを実施したところ、送迎に負担を感じている人もいることが分かったので、公共交通を使って通えるようにすべきと思う。</p> <p>高校のある市町村は、他の市町村から来ている高校生がどのような利用をしているのかを把握するべきである。白川・東白川の改善をしたとき、保護者の負担軽減につながった。ただ、美濃加茂市の駅からの通学は美濃加茂市側で対応してもらえない。そういうことを定住自立圏で話し合って欲しい。関市も長良川鉄道とシティバスの助成をしているということだが、関有知高校や関商工は乗り継ぎが必要であり同様である。高校生や高齢者にどういうレパトリーを提供できるかを計画策定の時に考えていただきたい。</p>	<p>交通圏として市町が連携した取組は何かあるか？</p> <p>→（美濃加茂市）加茂地域での定住自立圏の取組の中で美濃加茂市、八百津町の高校へのアクセスを高めることが重要。中部国際医療センターは通院だけでなく、そこからもおでかけするようなことができればと考えている。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
<p>輪之内町の地理感が分からないので HP を調べようとしたら、リンク切れになっているなど、情報も取りにくい状況であった。PR の状況等も教えてほしい。</p> <p>→リンク切れについては対応したい。町内住民へは広報やチラシなどを毎年作成している。</p> <p>南北線は高校生の利用者減少とのことだが、今後の利用促進について教えてほしい。</p> <p>→サービスの低下がないよう検討したいが、朝1便・夕2便のみとなっており、定期券購入者が1～2人しかいない状況なので、再編を考えていきたい。</p> <p>南北線は抜本的に見直さないといけないだろう。</p>	<p>HPの「輪之内町の公共交通について」を見ているが、確かに情報が少ない。まずはP2の概要図をHPに貼っておいてはいかがだろうか。</p> <p>南北線は海津明誠高校の通学にしか使えないダイヤなので、1年生が半減となる状況ではやむを得ないと言えるかもしれない。そもそもどのような車両を使っているのか。</p> <p>→中型バスで走らせている。</p> <p>ワゴンで良いと思う。また、安八温泉を始終点にする意味がないと思う。利用者はいるのか？</p> <p>→安八町から乗る人はいるが、南北線は全額輪之内町で負担しているため、安八町と調整となる。</p> <p>昔は輪之内町から安八温泉に行く人が乗っていたのだろう。今はデマンドバスで対応できるようになった。一方で、デマンドバスは歴史が長く定着しているため、予約が入られないような状況になっていないだろうか。</p> <p>→キャンセル数は把握しており、1日あたり数件ある。2台で運行しているため、増やすかどうか検討している。</p> <p>1日あたり数件というのは多いと思う。</p> <p>海津明誠高校に行くには海津市の市営バスに乗り換えないといけない。安八温泉へ行くのを辞めて、海津明誠高校まで直通にした方が良かった。</p> <p>ヨシツヤに行く人はいるか？</p> <p>→デマンドに乗っていく人がいる。町内にはイオンザ・ビッグしかないため、ヨシツヤに行く人がいる。</p> <p>改めて地域のニーズを把握して、午前に集中するなら午後に分散させる等があるだろう。高校生は3年しかいないため、早く対応できると良いだろう。</p>	<p>「Check」について、デマンドバスの利用が令和5年度に増えて令和6年度に下がっている。リピーター率など状況を教えてほしい。</p> <p>→安八温泉の利用状況が大きく影響する。行く人はよく行くが、行かなくなると減る。</p> <p>フルデマンド化について、現場のトラブルなどないか教えてほしい。</p> <p>→予約はコールセンターでの受付のみとしている。運転手の負担軽減の観点もあり、迷わず行けるよう配慮している。</p> <p>運転手がトラブルを抱えて自治体に報告していない場合もあるため、ぜひ吸い上げをしてほしい。</p>	

	委員 1	委員 3	中部運輸局
<p>飛騨市公共交通会議</p>	<p>説明会や意見交換をしっかりとしている。乗り場の工夫、高校生との協働などいろいろな取組をしている印象だ。</p> <p>観光客についても取組が挙げられているが、何か取組はあるか？</p> <p>→バス停整備は、飛騨古川駅を降りてもバス停の場所が分からないという観光客の声もあって実施した。観光施設の HP にバスでのアクセスが書いていないことがあるので、観光部局と連携して修正している。</p> <p>市民の利用が第一だが、観光的にも魅力があり、大学もできる。広域から来る人に地方の面白さを伝えるためにも、きちんと乗れるということが大切だと思う。</p>	<p>意見交換会・説明会が丁寧に行われている。意見交換会に 85 名参加ということだが、公共交通を利用している人は含まれているか？</p> <p>→半数がバス利用者である。</p> <p>「露出を増やす」というのは良い言葉だが、利用促進・啓発の取組の内容が一般的であるので、継続にとどまらず、新しい取組をしていただけるとよい。</p>	<p>乗り場を民間・コミバス一体的に整備するのは、運賃や回数券が共通であるためできることであり、素晴らしい。</p> <p>神岡猪谷線の利用が減少しているが、何か対応を考えているか。</p> <p>→猪谷から富山に行く JR にあわせて 5 往復運行している。猪谷から富山に行く JR は 13 便あるため、接続性の悪さをデマンドで追加してカバーすることを協議していたが、ドライバー確保ができずに見送った経緯がある。富山市とは情報交換はしているが、今後の連携については考えていきたい。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3
岐阜県	<p>GTFS にずっと取り組まれていて、岐阜県42市町村のうち32市町村ができたということは、残り10市町村をどう促しているのか。また、美濃加茂の定住自立圏の中でGTFSを整備していくという話だと思うが、八百津など周辺も含めて応援しているのだろうか。美濃加茂以外の定住自立圏でGTFSに取り組んでいない。</p> <p>→定住自立圏の中では坂祝町が未実施であり、町民限定のバスなので必要性を感じていないと言っていた。</p>	<p>運行管理に対して支援しているのはありがたい。私は国土交通省の運行管理の見直しに関する会議の座長であるが、岐阜県から応募がない。国は、実証実験に参加しないということは大丈夫とってしまう。ぜひ参加して声を挙げてほしい。</p> <p>地域間幹線は細るばかりである。その中で明るい兆しは、笠松県庁線・笠松川島線であるが、低調と聞いている。これらは注目すべき内容であると思うがどう取り組んでいるのか。</p> <p>→県として特に取り組んでいないが、岐阜バスの取組を周知などしている。また、総務部の方で県庁へのアクセス性のアンケートを行っている。</p> <p>他人事のように見える。しかしお金を出すということは、計画に基づいて出すわけで、それでよいのだろうか。もし廃止になったらとんでもない失策になってしまう。</p> <p>土岐市立総合病院などの施設見直しの中で、地域間幹線を見直さないといけないと思うが、何か取り組んでいるのだろうか。</p> <p>→部会のテーマに挙げる予定である。</p> <p>もう少し能動的にあるべきではないか。地域間幹線の制度は、国や県がアドバイスしていかないといけないと思う。笠松の件でもそうだが、もう少し能動的に対応してほしい。</p>	<p>評価シートを見ると、未達の理由として高校生の減少を挙げている場合が多い。県全域の状況はどうなっているか。</p> <p>(委員2)すぐに回答できないのは問題だ。高校生が主要顧客であり、高校にきちんと登校できるかどうか、地域間幹線の維持に深くかかわっているはずだ。</p> <p>関市の「送迎率」はわかりやすい。高校生の通学について考えてほしい。</p>